

事務事業名		福祉医療費貸付金事業			会計	一般会計					
H27担当課等名		保健課		H27係等名	医療給付係		H26係等名	医療給付係			
基本計画上の位置づけ		政策	3	健やかに安心して暮らせるまちづくり			施策	36	生活困難者の自立及び支援		
目的	対象(誰・何を)	福祉医療受給者で、一時的な窓口負担が経済的に困難として資金貸付を希望する者				対象指標	指標名及び単位		26年度数値		
	意図(どういう状態にするか)	資金の貸付を行うことにより、対象が安心して医療が受けられるようにする					福祉医療費資金貸付認定申請者		42		
	向上させたい上位施策の成果指標	生活相談数/人口									
目標	種別	指標名及び単位				26年度計画	26年度実績	27年度計画	28年度見込み	備考(指標変更など)	
	成果指標	福祉医療貸付認定証交付者/貸付条件該当の福祉医療費貸付認定申請者 %				100	100	100	100		
	定性目標										
事業概要	福祉医療受給者で、医療機関での自己負担分を支払うことが困難な低所得者(住民税非課税世帯等)に対し、自己負担額(福祉医療費相当額)を貸し付ける事業 1 福祉医療貸付認定証交付 2 医療機関に貸付制度利用の申出 3 1ヶ月まとめて医療機関発行の請求書を添えて貸付申請 4 受診月の翌月20日までに貸付										
26年度事業内容	事業内容				名称				活動指標		
	福祉医療受給者のうち、医療費自己負担分の窓口支払い困難者に対して福祉医療費相当額を貸付				1 貸付人数 2 貸付金額				1 38人 2 1,428千円		
事業コスト		25年度決算額	26年度予算額	26年度決算額	27年度予算額	特定財源内訳、補足					
事業費計(千円)①		1,669	2,018	1,428	2,018	(そ) 諸収入 福祉医療費相当額を一旦貸し付け、福祉医療費給付金を全額充当する。 貸し付け後、充当処理までに3ヶ月程度の期間を要するため、複数の会計年度にわたる会計処理となり、一般財源の決算額が発生するが、最終的に一般財源による財政負担はない。					
国庫支出金											
県支出金											
起債											
その他		1,666	2,018	1,393	2,018						
一般財源		3		35							
人件費計(千円)②		536		715							
正規職員所要時間		150		200							
臨時職員所要時間											
総事業費①+②		2,205	2,018	2,143	2,018						
事業内容・目標達成状況の振り返り	適正な事務の遂行により、目標を達成した。										
改革改善の考え方	①問題点	現状、事務処理を手作業で行っているが、対象件数が増加しており、担当者の負担が増している。									
	②改革提案	過誤のリスクも踏まえ、システム化の検討をすべきだが、現在、導入可能なシステムがない。									